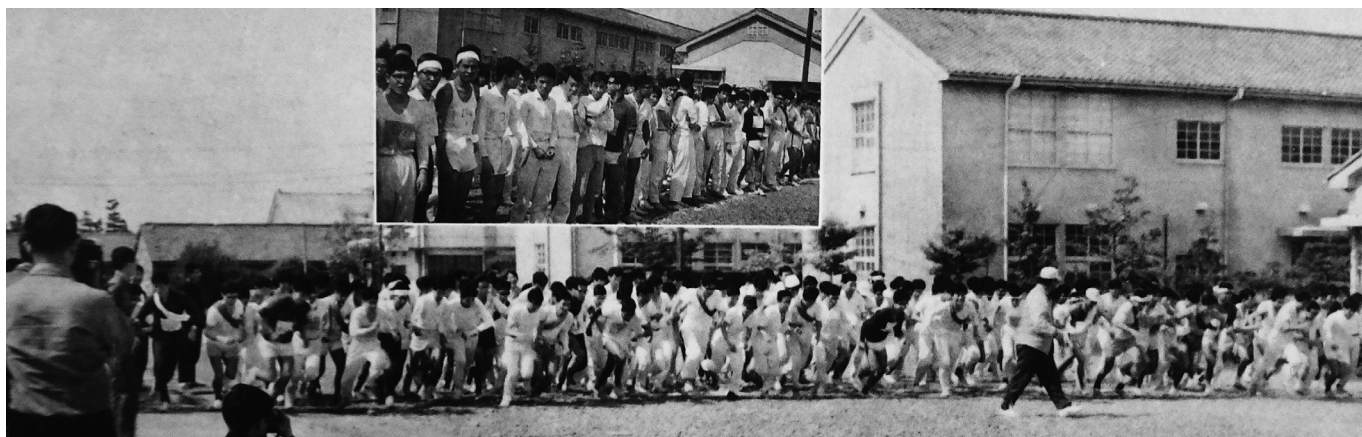


駅伝大会の歴史



浜松高等工業学校正門前スタート

1942浜高工アル(通信工)



第30回(1965)スタート

1966化学工卒アル



第73回(2000.5.18)湖畔を力走する女子チーム 静大だより141(2000.7)



第83回(2010.5.15)



第89回(2016.5.28)

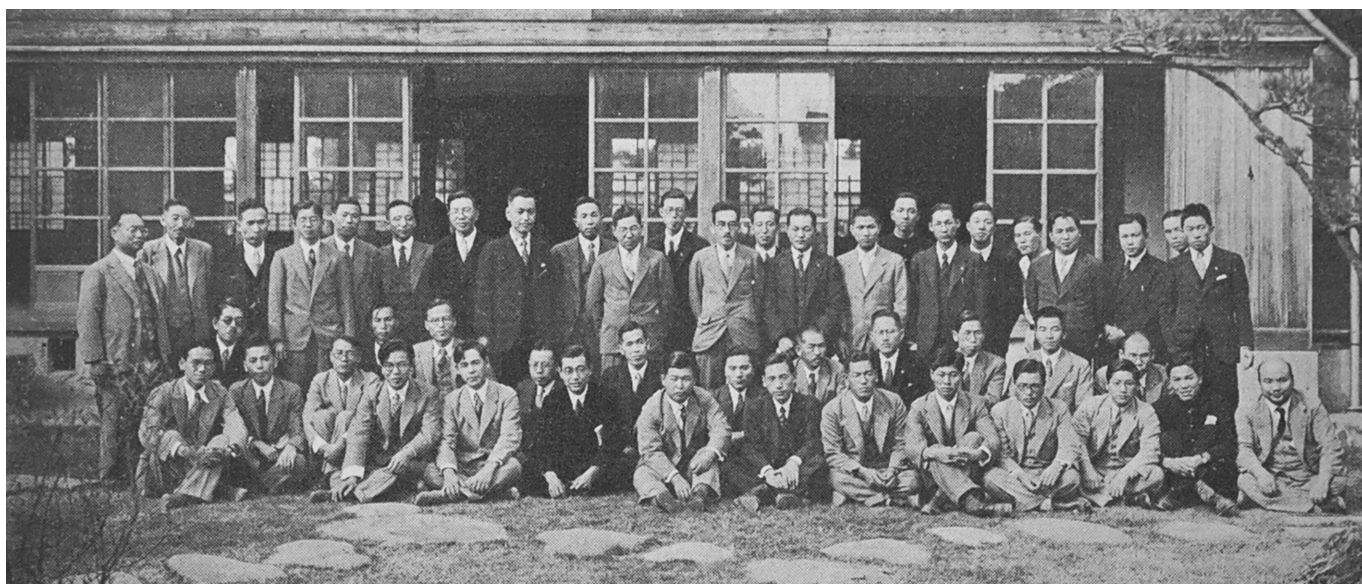
はまかぜ29(2016.12)



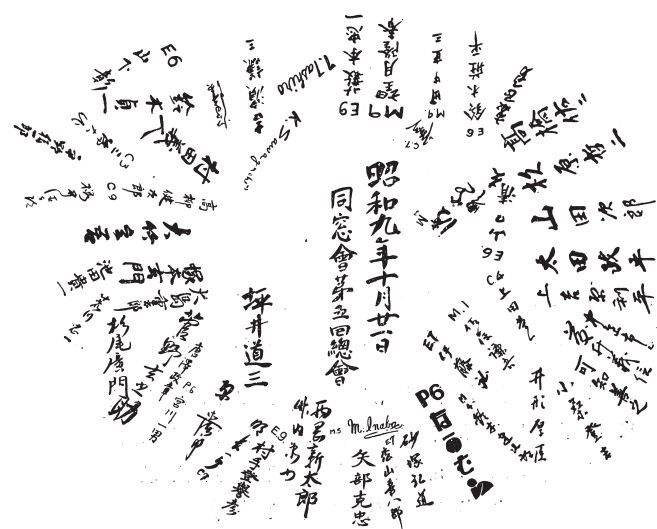
第91回(2018.5.26)

はまかぜ33(2018.12)

■ 浜松高等工業同窓会総会 ■



第5回同窓会総会 1934.10.21



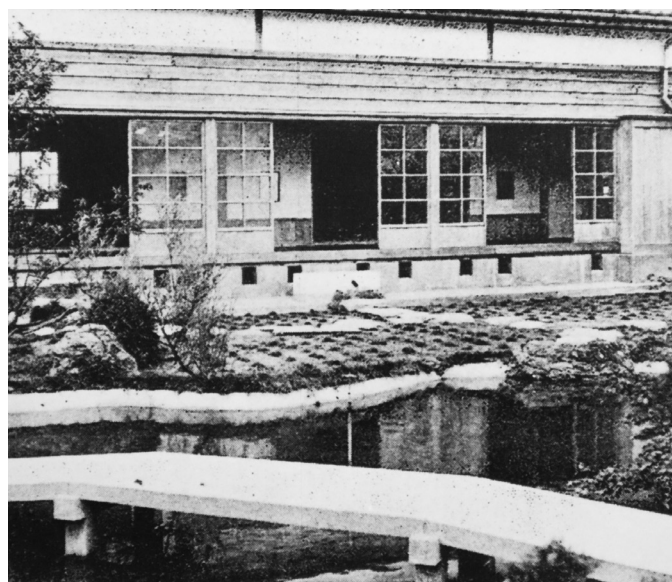
第5回同窓会総会参加者の色紙



第6回同窓会総会 1937.10.17

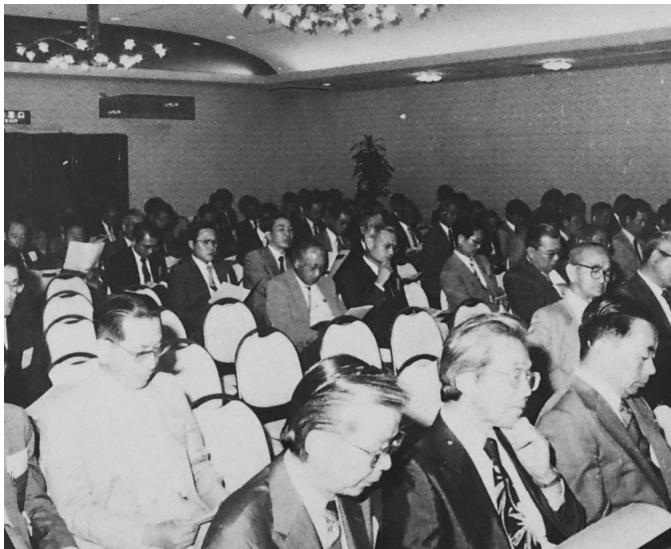


第8回同窓会総会 1940.10.20



高等工業生徒集会室

■ 静岡大学 浜松工業会総会・浜松支部総会 ■



昭和62年総会 1987.5.16



平成元年度浜松支部総会

■ 静岡大学全学同窓会東京地区交流会・東京支部総会・2013.5.25 ■

静岡大学 全学同窓会(東京地区)



伊東学長と学部長

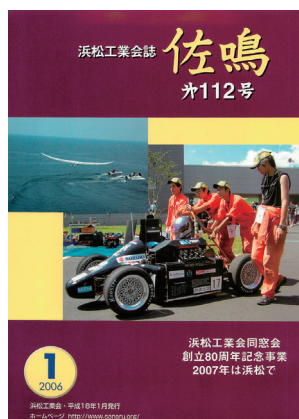
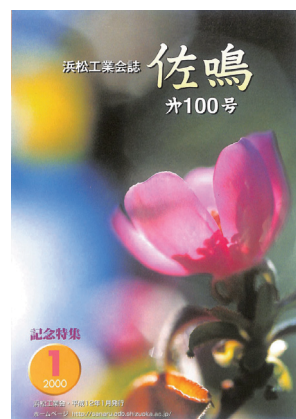
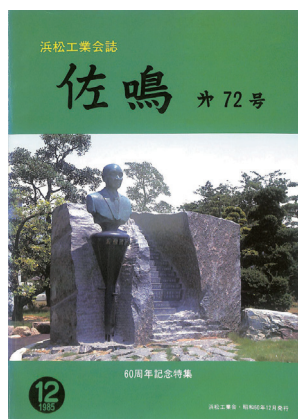
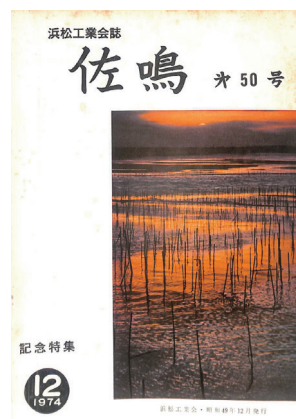
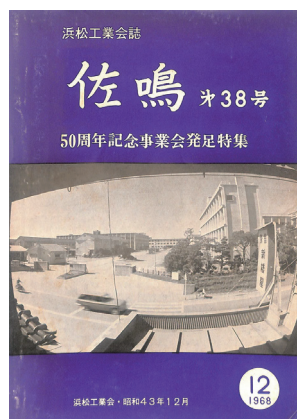
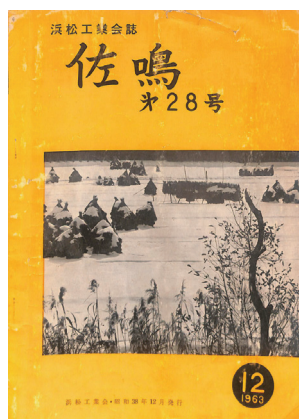
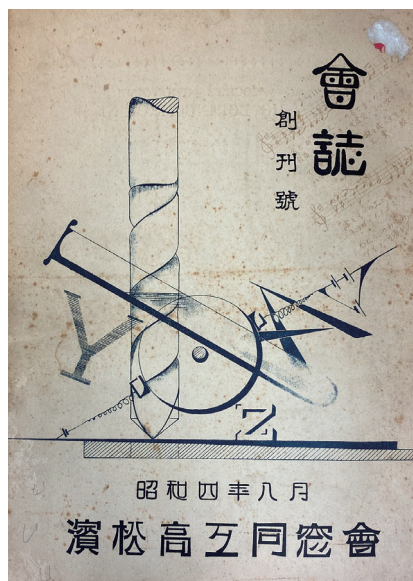


懇親会乾杯



集合写真

同窓会誌『佐鳴』の表紙



浜松キャンパスのモニュメント



噴水と彫刻「母」

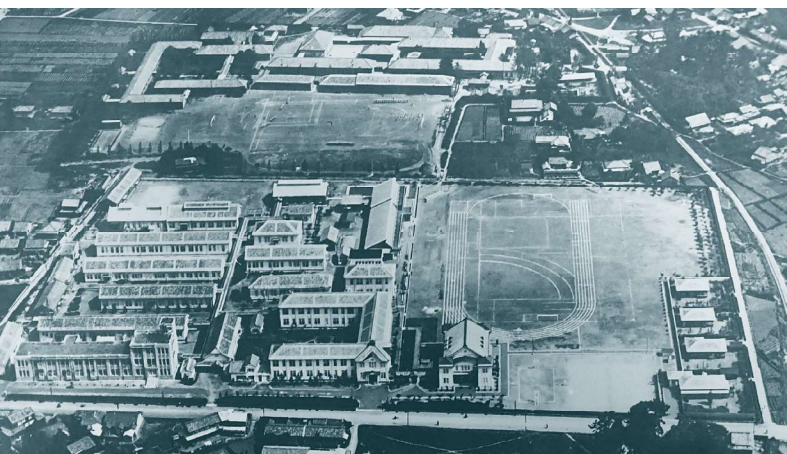
「母」は、草月流初代家元の華道家で、前衛芸術家といわれた勅使河原蒼風氏の作品である。（岡本尚道「浜松キャンパス10年間の環境整備」）2006より）



静岡大学50周年記念モニュメント

静岡大学50周年を記念して、福島県産白御影石の100トンの一枚岩から2つのモニュメントをつくり、静岡キャンパスと浜松キャンパスに向かい合って建設された。教育学部の登坂秀雄氏のデザインで、ブロンズ彫刻は細谷泰茲氏が制作した。学問の神としてフクロウが、スパイラルに上昇する溝にカタツムリのブロンズ像を置き、静岡大学で学ぶ学生たちの前向きの着実な歩みと同時に、後進者への道標を意味する姿として表現されている。

（岡本尚道「浜松キャンパス10年間の環境整備」）2006より）



1930(昭和5)年 浜松高等工業学校(浜松市広沢町)



1955(昭和30)年 静岡大学浜松キャンパス(浜松市城北)



イノベーション社会連携推進機構



工学部5号館(システム)



工学部2号館(電気電子)



高柳記念未来技術創造館



S-Portと高柳健次郎像



関口バラ



1965(昭和40)年 静岡大学浜松キャンパス(浜松市城北)



1975(昭和50)年 静岡大学浜松キャンパス(浜松市城北)



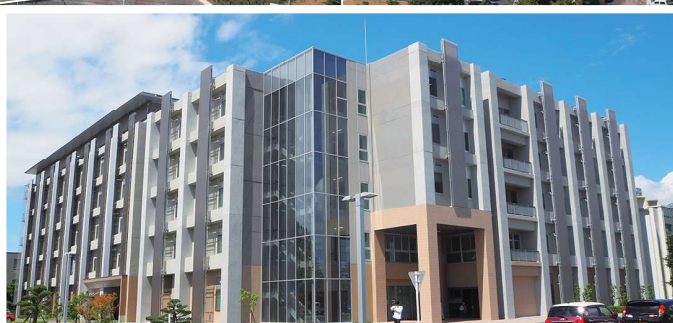
2021(令和3)年 静岡大学浜松キャンパス(浜松市中区城北)



総合研究棟



工学部3号館(化学)



光創起イノベーション研究拠点棟

電子工学研究所



共通講義棟



情報学部2号館